

舶來二品アリ、古渡ハ藥舗ニテソギ大黃ト呼ブ、斜ニ薄ク切片ニシ、乾シタルモノ也。今ハ渡ラズ、陳藏器謂ユル牛舌片是ナリ、今渡ルモノハ藥舗ニテツナギ大黃ト呼ブ、縱ニ薄ク切片ニシ穴ヲ穿チ、繩ヲ以テツナギ乾タルモノナリ、蘇恭穿眼ト云是ナリ。今漢種ヲ傳テ城州長池和州ニ多クウユ、藥肆ニコレヲ真ノ大黃ト呼ブ、切口ニ紫ノ筋アリ、卽錦紋大黃ナリ、形色ハ舶來ニ異ナラザレドモ、本邦ノ土地ニ應ゼザル故カ、舶來ノ者ニ及バズ、一說ニ年ヲ經レバ唐ニ同ト云、ソノ葉ハ白桐葉ニ似テ潤大、鋸齒ナク光アリ、長サ二尺許、潤サモ亦同ジ、上ニ一尖アリ、コノ葉根上ニ叢生ス、夏月中心ニ圓莖ヲ抽、長サ六七尺、其葉互生ス、上ノ葉ハ漸ヲ以テ小ナリ、莖頂及梢葉ノ間ゴトニ小花ヲ開キ穗ヲナス、其穗長シテ枝アリ、綠花、花實トモ羊蹄ニ異ナラズ、冬ニ至テ苗枯ル、子ヲ下シテ生ジ難シ、根ヲ切テ分チ栽レバ皆活ス、虫ソノ葉ヲ食ヘバ其痕紫色ニ變ズ。○中略

集解、陳藏器曰、土番大黃ト云ハ土大黃ナリ、山中溪間ニ多クアリ、京師貴布襪方言、カラスノアブラ、高サ五尺許、葉ハ牛蒡葉ニ似タリ、長クシテ末尖ラズ、花實トモニ羊蹄ニ同ジ、根亦相似テ黃色、數條簇リ生ズ、

〔農業全書
藥種之類〕大黃

大黃是も醫家に時々用ゆる藥種なり、うゆる法、一科をいくつにもわりて、地深にてよく肥たる畠を數遍耕しこなし置たるに、二月畦作り、菜園の如くし、間を一尺二三寸も廣くうゆべし、糞幾度も多きに志かず、芸り中うちさいくして、冬になりて掘取べし、肥地に糞し手入をよくすれば、一年立にも取用ゆれども、二年をきたるは性も強し、土氣を淨く洗ひ、葛か串につらぬき干して用ゆべし、是山城の長池などにて作る、唐の大黃たねなり、葉丸く厚くして、つはの葉によく似て、莖少あかく、甚ふとくさかゆる物なり、前々より有来る倭大黃とは、根のかたち少似て、隔別なる物なり、長池の土は、黒土の細沙雜る深き肥地なり、